

ひとを読む、 おもいを味わう

リビングライブラリーとは、人が本となり様々な経験や思いを、読者である参加者と語り合うイベントのこと。このイベントではみなさんの日常のなかにある「身近な人権問題」をテーマに5冊の「本」が語ります。また通常のリビングライブラリーとは異なり、このイベントでは本と一緒に料理を楽しんでいただきます。視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚、五感すべてを使うことで、本と本の経験についてより身近に感じてみませんか。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：7月23日（土）14:00～17:00（13:30～受付開始）

場所：とよなか国際交流センター 料理室（エトレ豊中ビル 6階）

（住所：大阪府豊中市玉井町1丁目1番1）

定員：25人（電話・メール・Webフォームで先着順に受付）

参加費：無料



ブックリスト

『ありのままのわたしを生きる』 ^{どひ}土肥いつき（京都市立高校教員、セクシャルマイノリティ教職員ネットワーク副代表）

人生、まっすぐ生きるなんておもしろくない。「The Long and Winding Sexual Story」の世界に、あなたを誘います。

『お故郷/お国 はどこですか』 ^{いわね}岩根あずさ（大学院生）

グラニー（おばあちゃん）は外国人。私は日本人。外国人ってどんな人？ハーフ顔ってどんな顔？と、常々考えている人の本。

『難民 in Japan の話』 ^{かじたちか}梶田智香（大学院生）

日本に難民っていないよね？と言われた経験から、日本にいる難民についてお話しします。

『みんなと違うことは素敵？しんどい？』 ^{きむはりん}金夏琳（大学院生）

「日本文化が日本人を苦しめている」、「自分は生まれてこない方が良かった、自分は～じゃなくてよかった」、「“The private is political”」、「肉食系女子だけど肉食べない」。

『お母さんの話』 ^{よこぎなみ}横木那美（大学院生）

ワタシとお母さんの9年間の闘いのお話です。理想の「お母さん」、理想の「家族」ってなんだと思いますか…？

コメンテーター・司会：^{とくなが えみか}徳永恵美香

ヒューライツ大阪の研究者。すべての本に共通する「国際人権」について、お話しします。

※持ち物：エプロン、三角巾、ハンカチ

※一時保育＜有料＞をご希望の方は申込時要相談（一時保育受付締切：7月16日）

主催：一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）

大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

協賛：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ（指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団）

申し込み・問い合わせは下記まで

電話：06-6543-7003（ヒューライツ大阪）

メール：livinglibraryosaka@gmail.com

（大阪大学リビングライブラリーチーム）



〈Web申し込みフォーム〉

<http://goo.gl/forms/zW4XRbZA6NQWmzb62>

阪急豊中駅
降りてすぐ！

とよなかすてっぷ

エトレ豊中ビル・5階

※料理室は6階です。当日は直接6階へお越しください。

